

第117号

1月

あいしま号

〒246-0022

横浜市瀬谷区三ツ境

73-7

株式会社アイシマ

TEL045-360-6021

平成30年頭挨拶

明けましておめでとうござい
ます。

皆様におかれましては、平成
30年の新春を健やかに迎え
のこととお喜び申し上げます。



昨年中は、利用者様をはじめ
ご家族並びに家主様や連携協力
機関のご理解とご協力を賜り、
円滑に運営することができまし
たことを心より感謝申し上げま
す。

また、職務に携わる職員の皆様
の熱意に改めて感謝申し上げます。

さて、当社は2000年（平
成12年）に設立され18年目を経
過しようとしております。

「利用者第一主義」

「地域密着主義」

「各施設主体主義」

を理念として、地域に密着した
介護事業を運営してまいりまし
た。

今年も新たに下記目標を掲げ全
職員の協力の下、事業運営をし
てまいります。

（株）アイシマ 平成30年目標

- ・ 職員教育の充実
- ・ 各事業所の稼働率維持・向上
- ・ 安定した職場環境作り
- ・ 安心、安全なサービスの提供
- ・ 地域、他職種との連携強化

さて、昨年は1月に青山学院大
学が3連覇をした箱根駅伝には
じまり、年末にはキタサンブラ
ックが有終の美を飾るという、
明るい出来事に始まり、明るい
出来事に終わった一年に感しま
した。

アメリカでは、トランプ大統領
が「米国第一主義」を宣言し就
任、初来日をしました。

国内では、7月に行われた東京
都議選にて都民ファーストの会
が圧勝したものの、10月に行わ
れた衆議院選挙で自民党が大勝
をし、第4次安倍内閣が発足し
ました。

また、日本人初、陸上100m
10秒の壁突破、桐生9秒98の
快挙。将棋界では藤井四段前人

未到の29連勝、フランス大統領
史上最年少39歳マクロン氏就
任、と“初”が重なりました。

日本出身力士としては、19年
ぶりに稀勢の里が第72代横綱
に昇進、DoT横浜ベイスターズ
セリーグ初の下克上、19年ぶり
日本シリーズ進出、と「19年ぶ
り」が重なりました。

ジャインアントパンダ「香香」
誕生、観覧抽選最高倍率144倍と
明るい出来事が世間を賑わせま
した。

このような世間の中、当社に
おいては、2月13日付米国ニュ
ーヨークタイムズ紙のTHE
NEW YORK TIMES I
NTERNATIONALに
「レストラン風の音」が取材を
受け紙面に掲載されました。そ
の内容は、「高齢者または施設に
入居している高齢者の方々にも
楽しく食事ができるレストラ
ン」。

この記事をご覧になったシン
ガポールの方が来日されレスト
ラン風の音にて食事を楽しんで
いただけました。

ておりますが、弊社が運営する
ほかほかプラザ学習支援のボラ
ンティア先生に翻訳を依頼し、
原文と共に当社ホームページに
掲載中です。

今年2月に開幕する冬季オ
リンピック平昌大会が行われる
年でもあり、どのような出来事
が世間を賑わせるのでしょうか。
そして、3年に一度行われる
介護報酬改定もあります。

4月の改定までの3ヶ月間に、
各サービスなどへの単位や点数
が決められて行きます。

前回行われた介護報酬改定で
は、2.27%の引き下げでした。こ
の引き下げは、当社をはじめ介
護事業を行う法人には重く押し
掛かるものでした。

今回の介護報酬は0.54%の引
き上げが確定しています。わず
かであるプラス改訂は、今後の
見通しが少し明るくなってい
くように思えます。

そして、この先の介護保険制度
が、介護を受ける側にも、介護
をさせていただく側にも、また、
それを囲む地域にも、関わるす
べての方が、「良し」となれば

願うところでありませう。

当社の施設状況として12月末現在、グループホーム21箇所稼働率98%超。

小規模多機能型居宅介護事業所11箇所、稼働率84%超。共に100%に向け、会社理念、平成30年度目標を基に職員一丸となつてまいります。

また、今年4月には22箇所目のグループホームはなみずき（横浜市栄区）開設に向け現在準備中です。

2020年東京オリンピッククイヤーには創設20年という節目を迎えます。その節目に向かいよりいつそうの地域貢献を行っていきけるよう着実に成長し、成果を残し、どなたからも愛されるアイシマを目指します。

末筆にはりますが、皆様には、これからまなご一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。後のおまますますのご繁栄、ご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

株式会社アイシマ

専務取締役 奥田 貴生

8年間の歩み

在宅部 岩本 明広

皆様、あけましておめでとうございませう。

私は、在宅部第一小規模課 課長兼、小規模多機能型居宅介護事業所ロマン 管理者 岩本 明広と申します。

早いもので、私がアイシマに入職して8年が経ちました。

当時はアイシマに小規模多機能型居宅介護事業所（以下、小多機）が、2か所しかありませんでしたが、現在は11ヶ所まで増え、私のあらゆる環境が大きく変化しました。

今回は、私がアイシマで歩んだ8年間の出来事を少しお話しさせて頂ければと思ひます。

平成22年7月、小多機の管理者に就任しました。

当時の私の考えは

「小多機は、凄くサービスだ」

「直ぐに満員御礼だ！」等、楽

観的な考えで仕事を始めてしまいました。

しかしその甘い考えは、直ぐに打ち砕かれる事になりました。

小多機というサービスが、日本で制度化され数年しか経っていない事もあり知名度が低く（横浜市全体でも小多機は20か所ほど）利用者様さえも「色々出てくるのはいいけど、話が上手すぎて怪しい」と寄り付かず、在宅ケアマネさんの多くも「小多機の支援内容や使い方が分からない！」と言われ利用者様の紹介も少なく、お客様が増えない、そんな環境でした。

ですが当時の私は、介護保険制度が、在宅支援中心にシフトしようとしている時代の流れから、

小多機というサービスに可能性を感じずにはいられなかったのです。

あらゆる逆境の中でも、「小多機サービスは必ず成功する、利用者様から必要とされる」と信じて、行動を起こしました。

制度を学び、いかにこのサービスを上手く伝える事が出来るのかを念頭に置きながら、一心不乱に営業を行いました。

そして事業所のシステムや、業務の形を構築し、小多機に特化した職員の育成や無駄の少ない運営方法も幾度となく取り組みました。

結果・全てにおいて、大失敗を繰り返しました。

それでも私の確信や、目標は変わらなかったもので、前に進み続けました。

そして、時は流れ平成30年、現在アイシマに11か所ある小多機の全てが、ほぼ満員御礼に近い稼働率まで成長しました。

まさに8年前に心に描いた姿に近づいていきます。素晴らしい人材が揃い、支援も充実しています。

私は今後も驕る事無く、利用者様に求められ、喜ばれるサービスを維持・向上させて行くことで、社会貢献して行ければと思ひています。

最後に・・・数年前のある時、漫画ばかりで本など読まない私が、本屋で偶然手にした、本の内容が、今でも忘れられません。多くは忘れてしまいましたが、冒頭の内容だけが忘れられずに、今でも私の考え方の根幹になっています。

“思考は現実化する” 人は心に思い、描いた物事しか人生で受け取らない。

そんな内容でした。衝撃でした。なので、この先も変わらず、どんな逆境や壁に遭遇しても、自分の目標を思い描き続け、邁進していきたいと思ひます。

編集後記

あけましておめでとうございます。毎年恒例の箱根駅伝を観ながら、正月を過ごしました。何がそこまで毎年夢中にさせるのか？その一秒をただただ「まさに一秒の大切さを、考えましよう。今年も宜しくお願い致します。（き）

